

## 【政治・経済】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（素案）

検討中

下段は、上段に挙げている学習過程の場面において発揮する力のうち、大学入学共通テストにおいて主に問いたい「思考力・判断力・表現力」である。

<b>【考察・構想(※注)】</b> ●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察することができる ●現代の政治、経済、国際関係に見られる課題を把握し、複数の立場や意見を踏まえ、その解決に向けて構想することができる	<b>【説明】</b> ●考察したことや構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる ・学習課題を振り返って結論をまとめることができる ・結論について検証することができる ・新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりすることができる
概念や理論等を活用し、資料等を用いて、現代における政治、経済、国際関係に関わる課題をとらえることができる	現代における政治、経済、国際関係に関わる課題を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。
概念や理論等を活用し、現代における政治、経済、国際関係に関わる制度や政策等の意義をとらえることができる	○作問にあたっての場面設定の工夫例 ・社会的事象等を多面的・多角的に考察する学習活動を通じて、現代の政治、経済、国際関係の課題について自分の意見を形成しようとする場面
概念や理論等を活用し、現代における政治、経済、国際関係に関わる事象の本質や特質について考察することができる	
概念や理論等を活用し、現代における政治、経済、国際関係に関わる事柄について、原因と結果等、その関連を考察することができる	
現実社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、その解決に向けて、公正に判断することができる	
現実社会の諸課題の解決に向けて、様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる	

※注) 構想については、社会に見られる課題の解決に向けて、広い視野から構想（選択・判断）することを示している。（参考：『平成28年12月21日中央教育審議会答申』より）

- 自由記述では、以下のことを問える可能性がある。
- ・社会的事象等を考察するにあたって、自ら課題設定し、適切な資料や方法を用いて考察することができる
  - ・社会的事象等を多面的・多角的に考察し、自らが構想した過程や結果を諸資料などの根拠に基づいて論理的・効果的に表現することができる
  - ・社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を踏まえ、課題解決に向けて自分の意見を形成して、適切に表現することができる
  - ・考察したことや構想したことから、新たな課題を見いだすことができる